



大塚だより

大田区立調布大塚小学校

校長 玉野 麻衣



レジリエンス(自己回復力)を育てる

校長 玉野 麻衣

先日の体育発表会は、多くの皆様にご参観いただきありがとうございました。こどもたちが考えたスローガンの通り、全力で取り組む姿、協力して取り組む姿をたくさんご覧いただけたのではないのでしょうか。一人一人かがやく時間となりました。ご家庭での練習・特訓にもご協力いただきありがとうございました。また、たてわり班競技は、未来実現プロジェクトチームが企画・提案・運営してくれました。未来実現プロジェクトチームが考えた学校目標の一つ「他学年との関わりを深め仲のよい学校をつくろう」の実現に向けて、限られた時間の中で創意工夫を重ねてくれました。超大作となりましたが、みんなが楽しめる時間を創り出してくれたと思います。一人でできないことも、みんなで力を合わせれば成し遂げられる、というたくさんの経験を、これからの学校生活に生かして、さらに成長していくことと思います。

「レジリエンスを育てる」とは、失敗や逆境の可能性がある社会において、しなやかに生きるための力を育てることです。例えば、レジリエンスに焦点を当てた集団適応では、以下のように捉えます。

成功すること	ではなく、 ➡	失敗から立ち直ること
間違えない		何度でもやる
ポジティブになる		ネガティブなりに行動する
自尊心を高める		自分の苦手を理解する
ひとりで頑張る		相談する
迷惑をかけない		かけたあとの対処を学ぶ

レジリエンスは、経験や周囲のサポートによって高めることのできる力、といわれています。「絶対に間違えちゃいけない」ではなく、「何度でも挑戦すること・できることが大事なんだ」と思えること、「ひとりで頑張るしかない」ではなく、「誰かに相談していいんだ」と思えることが、しなやかに生きるための力につながります。こどもたちの様々な経験を生かして、レジリエンス(自分で回復できる力)を高めていきたいと思います。

11月の生活目標

「友達を大切にしよう」

- 11月はふれあい月間です。友達に感謝の気持ちを伝え、相手のことを大切にしましょう。日頃の悩みや不安に感じていることは、すぐに先生や家族など、身近な大人に相談しましょう。

11月の保健目標

「姿勢を正しくしましょう」

- 寒くなってくると姿勢が丸まりがちです。よい姿勢だと脳に酸素が回りやすく、勉強や運動をするときの集中力も高まると言われています。ぜひ家族や友達とよい姿勢かどうか確かめ合いましょう。



3年生より

3年担任

先日行われた体育発表会では、今年度の学年のテーマ「目指せ 三太郎！」を意識した表現を行いました。どんな人とでも関わりながら（桃太郎）、助け合い、協力しながら（浦島太郎）、大きく力強く（金太郎）表現しようという学年の表現のめあてを児童とたしかめながら本番に向けて練習をしました。

友達と動きを考え、声をかけ合いながら練習したり、スカーフを使って全員できれいな円の隊形をつくるために工夫をしたり、こどもたちは日々の練習の中で三太郎を目指していました。練習を重ねていくたび、「できた！」「みんなでつくりあげた！」という思いを共有することができました。

本番を終え、3年生 47 人全員が楽しんで表現することができ、自分の成長を実感することができたと確信しています。これからも学年のテーマに向かって、児童一人一人が成長できるよう、支援していきます。



移動教室を終えて

5年担任

初めての宿泊学習、伊豆高原学園移動教室に行ってきました。教室という環境から離れて学ぶ3日間。実際に行って、見て、聞いて、触れて、体験することは、まさに「百聞は一見に如かず」。有意義な宿泊学習となりました。

環境に配慮した学園施設、間伐材や海藻を生かした作品制作、豊かな自然や地形を観察できるハイキングなど、ひとつひとつの活動を楽しみながら、「すごいね。」「なるほど～！」「難しいな。」と語り合う姿が見られました。3日間は、時程こそしおりをもとに行動するものの、活動や生活については「自立」がテーマでした。家庭から離れて自分のことを自分で行うことも大きな学びとなりました。声を掛け合い、助け合って一緒に過ごした仲間も、かけがえのないものです。

振り返りでこんな言葉を見かけました。「生かす、続ける」。3日間の学びを価値づけ、5年生をさらに成長させる重要なキーワードです。6年生の姿を見て、最高学年に向けて、また一歩ずつ進んでいきます。

算数少人数担当より

算数専科

算数科では、児童の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、習熟度別指導、週1回の学習支援員による授業中の支援、年6回の補習教室を行っています。

習熟度別指導の授業について、各単元の初めに、既習事項が身に付いているかを確認するレディネステストを実施し、その結果に基づいて、児童が自分に合ったコース（バリバリコース・ゆっくりコース・じっくりコース）を選びます。どのコースも、授業で学んだことを説明する活動を取り入れ、自分の理解度を確かめたり、学んだりしたことへの理解を深めたりしています。

補習教室は、3～6年生を対象に実施しています。児童自身が授業で理解や習熟が不十分だと思う箇所を中心に、学習支援員が指導を行っています。該当する児童には担任や算数専科からお便りを渡します。次回は11月5日（水）です。ご高配のほどよろしくお願いします。